

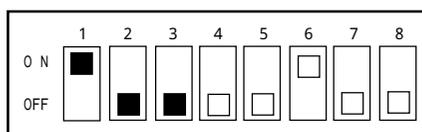
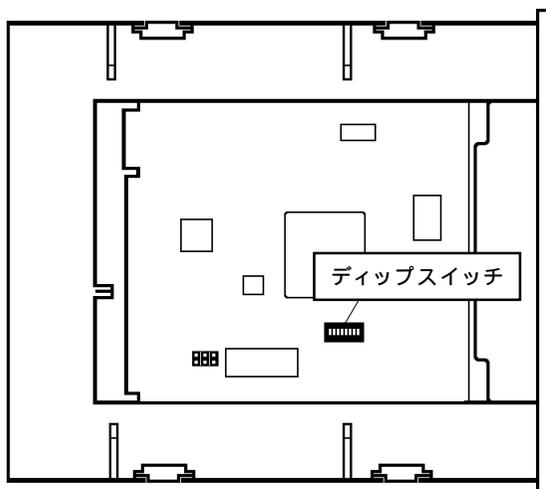
## 第2章 接続について

### 2.1 接続の前に

#### SCSI IDナンバーの設定

本製品を接続する前に、本製品のSCSI IDナンバーを確認 / 設定してください。この設定は本製品天面のディップスイッチで行ないます。

本製品は出荷時設定でIDナンバー「4」に設定されていますので、外付け / 内蔵のSCSI機器でこれと重複するものがある場合は、設定を変更してください。



出荷時設定

IDナンバーの設定

ID 0	ID 1	ID 2	ID 3																								
<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	1	2	3	■	■	■	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	1	2	3	■	■	■	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	1	2	3	■	■	■	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	1	2	3	■	■	■
1	2	3																									
■	■	■																									
1	2	3																									
■	■	■																									
1	2	3																									
■	■	■																									
1	2	3																									
■	■	■																									
ID 4	ID 5	ID 6																									
<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	1	2	3	■	■	■	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	1	2	3	■	■	■	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	1	2	3	■	■	■							
1	2	3																									
■	■	■																									
1	2	3																									
■	■	■																									
1	2	3																									
■	■	■																									



#### ご注意

PC-9800シリーズで本製品を使用する場合は、併用するSCSI機器のIDナンバーを必ず「0」から順に間を空けずに設定してください。本製品以外にSCSI機器を接続しない場合は、「0」に設定します。(ただし、640MB光磁気ディスク対応の機種をPC-9800シリーズ用のMS-DOSで使用する場合は、特殊な設定をしなければならない場合があります。詳細については弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。)

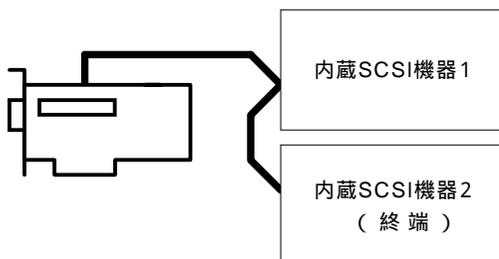
一部のDOS/Vパソコン用SCSIインターフェースボードでは「0」/「1」がBIOS制御のハードディスク用に予約されています。このようなSCSIインターフェースボードに接続する場合は、本製品のIDナンバーを「2」以降に設定してください。

IDナンバーの設定以外のディップスイッチは、出荷時設定のまま変更しないでください。

## 2.1 接続の前に

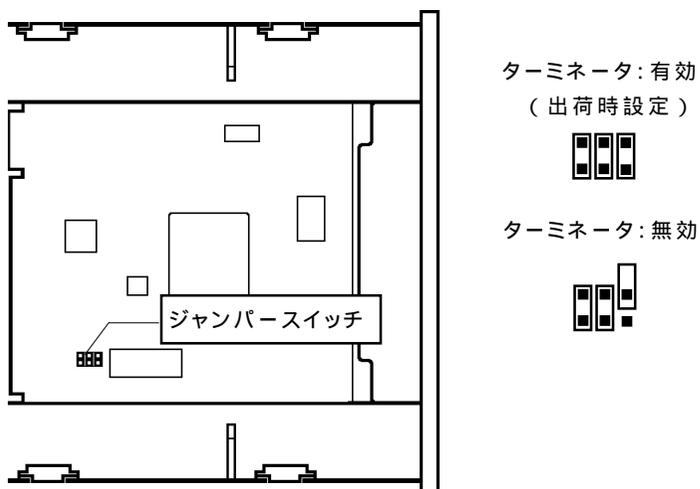
### ターミネータについて

SCSIでは接続の終端となる機器にターミネータを取付けなければなりません。内蔵SCSI機器の場合は、「終端」となる機器は下の図のようになります。



本製品は内蔵ターミネータを持ち、ジャンパースイッチで有効/無効を切り替えることができます。(出荷時設定:有効)

上図の「内蔵SCSI機器1」のように終端とならない位置に接続する場合は、以下のジャンパープラグをピンセットなどで取り外し、内蔵ターミネータを無効に設定してください。





ご注意

---

- ・ターミネータの設定以外のジャンパースイッチは、初期設定のまま変更しないでください。
  - ・内蔵SCSI機器と外付けSCSI機器を両方使用している場合、SCSIアダプタ上のオンボード・ターミネータを無効にしなければなりません。多くの場合、このターミネータは自動的に無効になりますが、旧タイプのSCSIアダプタではディップスイッチ、ソフトウェアなどで無効にしなければならない場合があります。  
内蔵SCSI機器と外付けSCSI機器を両方使用する場合は、SCSIアダプタのマニュアルでオンボード・ターミネータが自動的に無効になるか確認しておいてください。
-